

アクシアル リテイリング株式会社

CSR REPORT 2018



*Good life,
Good
tomorrow*



Axial
RETAILING

会社概要

【社 名】

アクシアル リテイリング株式会社

【本部所在地】

新潟県長岡市中興野18番地2

【設 立】

1967年8月

【資本金】

31億5,971万円

【事業内容】

スーパーマーケット事業を中心とした
企業集団の持株会社

【HPアドレス】

<https://www.axial-r.com/>

【グループ企業】

株式会社原信

株式会社ナルス

株式会社フレッセイ

原信ナルスオペレーションサービス株式会社

アクシアル レーベル株式会社

株式会社ローリー

株式会社原興産

株式会社アイテック

高速印刷株式会社

力丸流通サービス株式会社

株式会社フレッセイヒューマンズネット

高翔商事株式会社





目次

会社概要	1
グループ経営理念／ グループビジョン／営業概要	3
トップメッセージ	4
毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを	5
安全な商品をお届けするために	9
安心してお買い物いただくために	10
より便利なお買い物のために	11
物流ネットワークの構築	12
創業記念事業	13
地域の皆様とともに	15
社員とともに	19
事業活動の環境負荷	25
廃棄物の削減	27
レジ袋の3R	29
資源店頭回収とリサイクル	31
低炭素社会への対応	32
環境会計	33
アクシアル リテイリングのあゆみ	34

編集方針

アクシアル リテイリングは、より多くの皆様から当社をご理解いただくため「CSRレポート」を毎年発行しています。本レポートは、主にSM(スーパーマーケット)事業を中心としたグループ各社の主な活動結果及び進捗を報告しています。

我々は毎日の生活に必要な品を廉価で販売し、
より豊かな文化生活の実現に寄与することを目的とする。

経営理念の実現に向かう具体的な方向性を示すため、グループビジョンを定めています。

アクシアル リテイリング グループビジョン

Advanced Regional Chain

アドバンスト

リージョナル

チェーン

お客様へチェーンストアとしての一層のメリットを提供できるよう、「強固で優良なリージョナル・チェーン※1」を目指し、邁進してまいります。

重点項目

1 日本一のサービス

「判断の基準はお客様」を念頭に、お客様からご満足いただけるよう、基本の徹底4原則（明るく元気なあいさつ、清潔なお店、価格・鮮度・味の追求、品切れのない売場）についてレベルを向上してまいります。

2 SSM※2 200店舗

チェーンストアとしてのスケールメリットをご提供するために必要な店舗数を、標準化された一定規模のスーパーマーケットによって作り上げてまいります。
併せて、メリットを引き出す物流やITなどの基盤整備を進めてまいります。

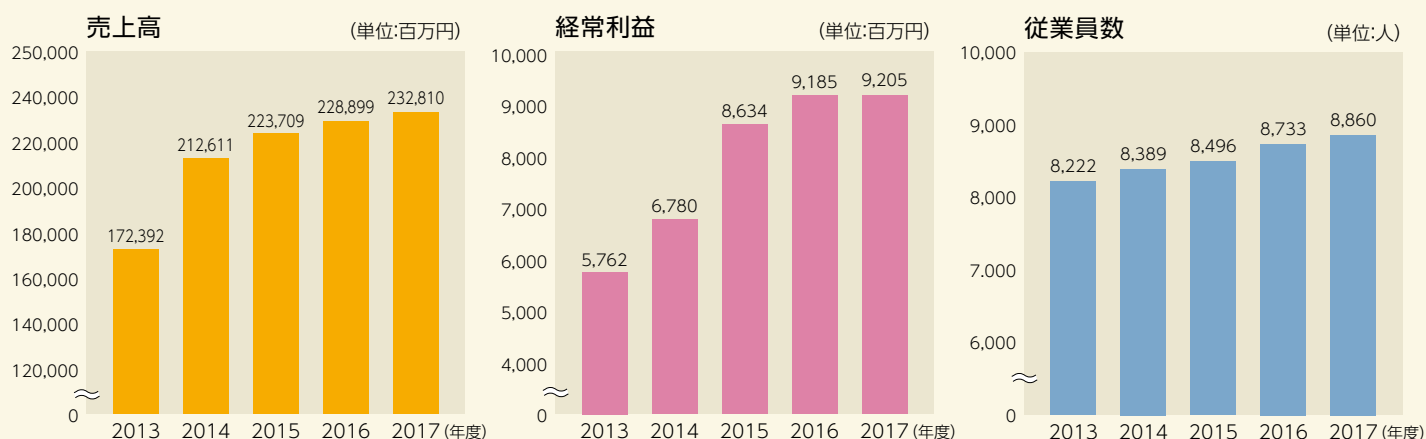
3 信頼の構築

お客様、従業員、地域社会、お取引先、株主など、当社グループに関係するさまざまな人たちから信頼される企業風土づくりに努めてまいります。

※1 リージョナル・チェーン：一定数以上の店舗を出店している地域が2つ以上あるチェーンストア。 ※2 SSM(Super Supermarket)：売場面積500～800坪のスーパーマーケットのこと。

〈営業概要〉

※2013年度の数値は統合後6ヶ月分のフレッシュイイの数値を含みます。



これからも地域を支える スーパーマーケットとして歩みを進めます



アクシアル リテイリング株式会社
代表取締役社長

原 和彦

■食生活のサポート

ライフスタイルの変化に伴い、私たちの食生活も変化をしています。その中で今、最も力を入れている課題が「健康」です。今後も予想される人口減少と高齢化の中、労働力を維持するために、スーパーマーケットは健康な食生活を支える社会的な役割を担っています。

健康で暮らすために自然と栄養バランスのよい食事ができるよう、ここ数年は「サラダ」「魚」「塩分」に注力してまいりました。

サラダは、野菜をメインに、魚、肉、フルーツなどの食材と味付け、調味料を提案しています。魚は、簡単にお召し上がりいただける煮魚、焼き魚などを「魚菜屋^{うおざいや}」コーナーで展開しました。塩分は、だしの旨味で塩味を抑えた「だし香るシリーズ」を、現在44品目販売しております。

■ライフスタイルのサポート

より多くのお客様に、豊かさ、楽しさ、便利さをご提供するための基盤づくりの一つとして進めてまいりましたグループの物流ネットワークの構築は、フレッセイ前橋物流センターの稼働が軌道化したことで整備されました。

これにより、品揃えの充実、鮮度管理の強化、店舗作業の効率化などの統合効果も発揮されつつあります。

今後は加工センターの機能拡大に向けた新たな稼働を予定しており、今まで以上にチェーン

ストアのメリットを創出し、お客様にご利益^{りやく}を提供してまいります。

■地域社会のサポート

地域の皆様に支えられ、原信はスーパーマーケット創業50年、フレッセイはスーパーマーケット創業60年を迎えました。長きにわたり事業を継続してこられたのは、これまでのご支援のおかげであり、あらためて皆様に感謝申し上げます。

これからも社会に貢献する存在であり続けるために、労働・雇用、法令順守、環境、人権などのCSR(企業の社会的責任)の取り組みを行い、継続的な発展を遂げたいと考えております。

特に、働きやすい職場環境の実現では、年次有給休暇の取得促進のため、連休制度の拡充や定例会議の合理化を推し進めました。また、会議や研修は年初に年間スケジュールを公開して計画的に取得できるようにしています。限られた人員で店舗運営を効率的にするために、複数部門での作業の仕組みやパートナー社員による部門運営の制度化で成果を上げてきました。これからも、社会から信頼され感謝され続ける企業グループを目指してまいります。

この度、「CSRレポート2018」を発行いたしました。皆様からのご理解やご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを

■ ツープラス ニューコンセプトⅡ+



アクシアル リテイリングでは、お客様に当社ならではのよりよい商品を毎日の食卓でお召し上がりいただき、お客様の生活がより豊かに楽しくなることを目指しています。

原信とナルスでは、2010年から「ニューコンセプトⅡ」に取り組んできました。この考えには①新しい商品展開 ②アカ抜けた売場 ③生産性の向上という3つのテーマがあります。そして2015年からは、さらなる豊かさ・楽しさ・便利さをご提供する「ニューコンセプトⅡ+」として商品とサービスの磨き上げを続けています。



サラダコーナー



うおさいや
魚菜屋コーナー



デザートコーナー

食生活の多様化に合わせたサラダ提案の充実や、健康ニーズに沿った魚惣菜の提案など、食卓をイメージしやすいように食シーンに合わせた商品づくりと売場づくりを進めています。

■ 原信エクスプレスマーケット城岡店 オープン

2018年3月に長岡市にオープンしました。高まる即食・時短・簡便ニーズに対応し、パッと買い物できるコンパクトなお店、手早くおいしい食事を楽しめるお店を目指しています。また店舗の生産性を高める取り組みも進めています。

パッ
Pa!と食べられる簡便商品



パッ
Pa!と買えるお買い得商品



パッ
Pa!とお弁当やお飲物が会計できるレジ



パッ
Pa!と商品が取りやすい陳列台



毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを

■お客様のニーズに対応

原信とナルスでは、「健康」と「簡単便利」へのニーズが高まってきている昨今、これらに対応すべく独自に商品開発を行い、商品を発売し続けています。

「もっと野菜を簡単に
おいしく食べたい」

365 × 3
salad life

「塩味を抑えて
おいしく食べたい」



「魚を手間暇
かけずに食べたい」



パワーサラダ



バジルとチキンのサラダ

カツ重

だし

「だし」で塩味をおさえ、
うまみを引き出しました。

いなり寿司

ひじき煮

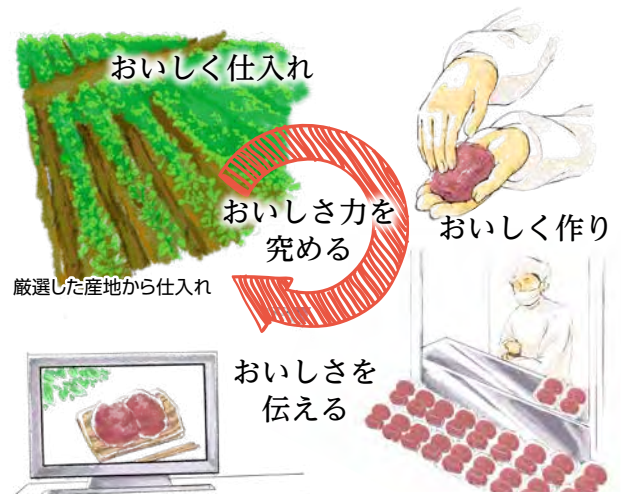
おかき

白菜漬

納豆

■おいしさ力を究める

おいしさ力を究めるとは、「調達→製造→販売」の各工程それぞれを追究し、おいしい商品をお客様にご提供する一連の活動です。



■パワープライス

いつでも低価格の商品を「パワープライス」として販売しています。現在は200品目以上にまで拡大をしました。



安全な商品をお届けするために

■ アクシアルブランド商品(プライベートブランド商品)の品質管理

プライベートブランド商品の製造にあたっては、事前に安全性基準に基づいた工場の調査を行った上で、メーカー様に委託をしています。



アクシアルブランドの商品

関連会社の取り組み

買物カゴ洗浄

株式会社 原興産 [清掃・リサイクル、保険契約に係る保険代理店]
力丸流通サービス株式会社 [清掃・リサイクル]

お客様が使う買物カゴや商品の配送に使う容器(トートボックス)の洗浄を行っています。大型自動化洗浄ラインの導入により、より洗浄品質(汚れ落ち、乾燥)向上と省力化(水、電気の使用量削減)が図れました。



買物カゴの洗浄

■ 2017年度 商品回収事例

- アクシアル 牧場の味わい牛乳の商品回収(原信・ナルス55店舗)
 - 農産物漬物の原料原産地名表示違反(フレッセイ51店舗)
 - ドーナツの原材料名表示違反(フレッセイ27店舗)
 - 「クリーミーコロッケ(ほたて)」と「もちもちチーズフライ」のアレルゲン表示違反(原信西新町店)
- お客様には多大なご迷惑をお掛けいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

安心してお買い物いただくために

■誰もがよりお買い物しやすい店舗づくり

■インターフォンの設置

店舗入口付近には、点字の店内案内と介助が必要な場合に従業員を呼べるインターフォンを設置しています。



介助が必要な方のためのインターフォン

■車いすの設置

各店に車いすを設置しています。またフレッセイでは、車いすの前に取り付けることができるカートもご用意しています。



車いすに取り付けるカート

■授乳室の設置

アクシアル リテイリングの一部店舗では、授乳室を設けています。粉ミルクを溶かすのに適した温度設定の給湯器も設置しています。



授乳室

■オストメイト※の方への配慮

アクシアル リテイリングの一部店舗では、オストメイトの方専用の設備を備えたお手洗いを設置しています。



専用設備のあるお手洗い

※オストメイトとは、直腸ガンなどにより、臓器に機能障害を負い、腹部に人工的に排泄のための孔を造設した人。

■AED(自動体外式除細動器)の全店設置

アクシアル リテイリングでは、全店・全事業所にAEDを設置しています。そして常に対応できるよう、毎年普通救命講習で訓練を受けている責任者を事務室前に明示し、一刻を争う事態に備えています。



AED



時間帯別担当者の掲示ボード

より便利なお買い物のために

■ 宅配ロッカーの設置

原信五十嵐東店(新潟市)と原信美沢店(長岡市)に、オープン型宅配便ロッカー「^{プド}PUDOステーション」を設置いたしました。宅配便をお受け取りになるお客様が、ご自宅で荷物を受け取ることができない場合に、受け取り先として本ロッカーを指定することで、24時間お客様のご都合の良い時間に受け取ることができます。



宅配ロッカー

VOICE

お客様の利便性向上に

新潟県内スーパー初の取り組みとして、宅配ロッカーを設置しました。店舗をご利用になるお客様の利便性が向上するほか、宅配便の再配達に伴い生じる環境負荷の軽減にも貢献します。



営業企画部
販促室長
高橋 和章

■ 来店宅配

フレッセイ5店舗では、「重くて持ち帰れない」「幼児がいて大型商品は買いたいのだけれど敬遠してしまう」などのお客様の声から、お買い物をされた商品をご自宅までお届けする来店宅配サービスを実施しております。2017年度は延べ約5,000名のお客様よりご利用いただきました。

■ アクシアル タウン

アクシアル タウンは、インターネットショッピングと実店舗の商品ご予約が一つのサイトでお申し込みいただける新しいサービスです。

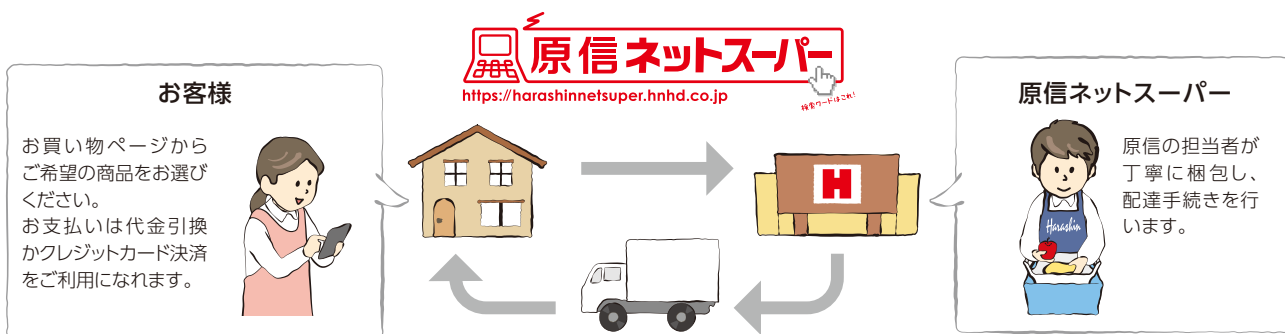
パソコンやスマートフォンから、季節のギフトや実店舗でご予約を受けている恵方巻、クリスマスケーキなどをご注文いただけます。



■ 原信ネットスーパー

原信ネットスーパーは、生鮮品を含む原信店頭の商品を当日ご自宅へお届けするサービスです。ご注文は、パソコンやスマートフォンから受け付けています。

朝10時までのご注文で(新潟市は13時まで)、新潟県内全域(離島を除く)へ当日中にお届けしています。



原信ネットスーパーのご利用についてはWEBをご覧ください。
<https://harashinnetsuper.hnhd.co.jp/>



アクシアルタウンのご利用についてはWEBをご覧ください。
<https://netshop.axial-r.com/>

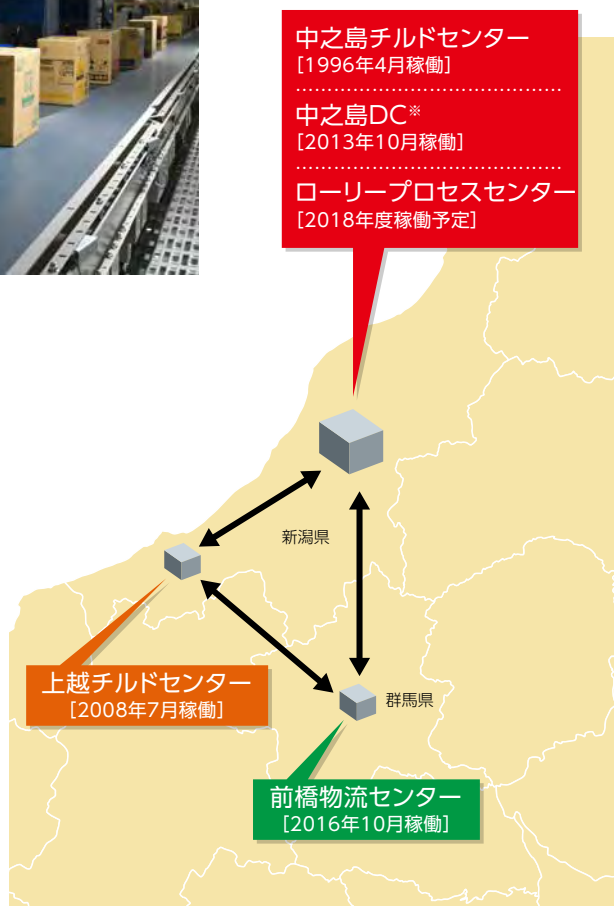
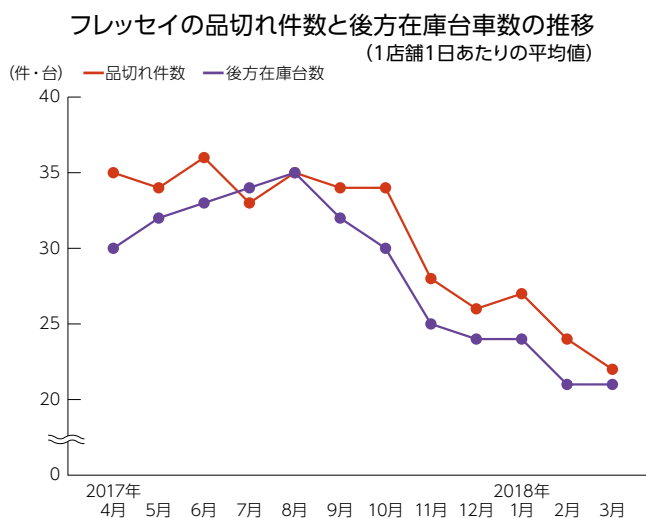


物流ネットワークの構築

2016年にフレッセイ前橋物流センターが稼働したことにより、アクシアルグループの物流ネットワークが構築されました。前橋物流センターの運用により、売場の品切れ削減や店舗在庫と店舗作業工数削減は予定以上の効果をあげています。



前橋物流センター



※DC：ディストリビューションセンター。在庫型物流センターのこと。

TOPICS ローリープロセスセンター稼働に向けて

関連会社のローリー(食品の製造・加工)では2018年度の稼働を目指し、中之島チルドセンター敷地内にプロセスセンターの建設をすすめています。

主に生鮮商品のアウトパックを担うことで、店舗作業の軽減を図ります。一方、店舗では生じた余力で、より魅力ある商品製造をすすめていきます。



ローリープロセスセンター(完成イメージ図)

創業記念事業

地域の皆様に支えられ、原信はスーパーマーケット創業50周年、フレッセイはスーパーマーケット創業60周年を迎えました。創業を記念し、未来につながる取り組みをスタートしました。



■ウォーキングDAY

地域に根差すスーパーマーケットとして、お客様の健康を「食事」の面だけでなく、「運動」についてもサポートすることによって、より健康的な暮らしに寄与することを目的に、「原信・ナルスウォーキングDAY」を開催いたしました。

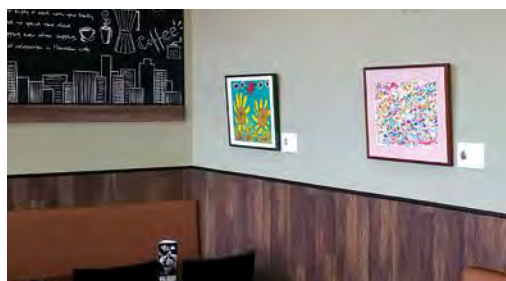


ウォーキングDAYのようす

■HARASHIN MUSEUM(原信ミュージアム)

障がいがある人と社会、人と人との関係を結び深めていくことを願い、障がいがある人のアート作品を原信店舗の休憩コーナー「原信カフェ」で展示しています。

(2018年11月末まで、川崎店・シビックコア店・錦町店・南万代店の4店舗で開催。)



展示風景(川崎店)



ポスター

■遠藤功先生講演会

地元長岡商工会議所会員企業と共に、遠藤功先生の現場力についての講演会を全3回シリーズで開催し、聴講しました。



講演会

■特別奨学生海外派遣

世界で活躍する若者が巣立つことを願って、長岡市の姉妹都市であるトリアー(ドイツ)とフォートワース(アメリカテキサス州)、ホノルル(ハワイ)の3都市に特別奨学生を5名ずつ派遣しました。



トリアー市議会議場にて

■ 感謝の会

2017年9月21日に、来賓の皆様をお迎えし「原信スーパーマーケット創業50周年感謝の会」を開催いたしました。会では、来賓の方々からのご祝辞をはじめ、50年の歩みの紹介や、大鳳合戦の鳳の実物の展示、さらに長岡花火紹介コーナーの設置やジャンボおはぎ実演イベントなど、賑やかに行われました。



感謝の会のようす

■ 記念事業への寄付

原信は長岡市国際交流協会様、長岡開府400年記念事業、互尊文庫完成・開館100周年事業、長岡花火財団様へそれぞれ寄付をいたしました。

なお、「原信スーパーマーケット50周年感謝の会」の中で、磯田長岡市長に長岡開府400年記念事業への寄付目録を贈呈しました。

長岡開府400年
ROOTS
400 越後長岡



寄付目録の贈呈

■ フレッセイ共栄会

お取引先様と設立しているフレッセイ共栄会では、60周年記念講演会を開催いたしました。元中国駐在特命全権大使の丹羽宇一郎氏をお招きし、「今後の国際情勢と日本の進むべき道」をテーマにご講演いただきました。



共栄会

■ 手作り料理写真展

フレッセイでは、子供たちが食を学ぶ機会としてお役立ていただくことを目的に、手作り料理写真を募集しました。応募いただいた写真はフレッセイ各店舗に展示し、優秀作品は店内にポスター掲示いたしました。



手作り料理写真展

地域の皆様とともに

■「食」を学ぶ活動の支援

原信では「子どもが作る『弁当の日』」の活動を応援しています。
活動の一つとして、地域の小学校様と連携し、調理教室や魚の下ごしらえ教室を開催しました。

またフレッセイでは、地元の小学校PTA様との共同企画で、魚のさばき方を学ぶ、お父さんと子どもの「おさかなさばき教室」を開催しました。



調理教室



おさかなさばき教室

■「こども食堂」のお手伝い

「孤食を防ぐための取り組み」として長岡市にある宮内銀河食堂様と新町みんな食堂様が活動されています。原信では、調理のお手伝いとして店舗が提供できる食材を利用いただいています。



宮内銀河食堂様



メニューの一例

■群馬県食育推進活動優良企業表彰を受賞

フレッセイでは、食育絵本プロジェクトの支援や、従業員対象の竹下和男先生の「弁当の日」講演会などの取り組みが評価され、2017年度群馬県食育推進活動優良企業として表彰されました。



群馬県食育推進活動優良企業表彰

■前橋商業高校様との商品開発

フレッセイでは、新商品「フレンチらし」を期間限定で発売しました。和のちらし寿司をフレンチ風にアレンジし、サラダ感覚で召し上がれる商品です。また、女性を意識し1食450kcalに抑えました。

これは、前橋商業高校の生徒が企画し、味・出来栄・価格・デザインなどを打ち合わせ学園祭で試食・アンケートを実施し、プレゼンテーションを経て、発売されたものです。

販売を記念して、開発した高校生による実演販売も行われました。



販売実習



フレンチらし

VOICE

フレンチらしの共同開発

群馬県の地域活性化包括連携協定の一貫としての取り組みで、発案者である高校生3名と試行錯誤を重ねて完成した商品です。

販売後、多くのお客様よりご支持を得ました。



フレッセイ 生鮮部
水産チーフバイヤー
大塚 信幸

子育て支援事業への協賛

アクシアル リテイリングは、自治体や民間団体の子育て支援事業に、お買い上げ金額の5%割引や独自のクーポン配布という形で参加しています。また店舗のある県内のカードだけでなく、他県の子育て支援カードも同じようにお使いいただけ、帰省されている方などに喜ばれています。



トキッ子クラブ
原信・ナルスクーポン

各自治体の子育て支援カード

高齢者支援

原信では毎週木曜日と年金支給日開催の「いきいきシルバースデー」でお買い上げ金額から5%引き、ナルスでは年金支給日開催の「シニアポイント5倍デー」、フレッセイの桐生・沼田地区の店舗では、毎週火曜日開催の「ぐーちよきシニアパスポート5%引きの日」を設け、各社が各地域で65才以上のお客様を応援しています。



いきいき
シルバースデー
(原信)

シニアポイント
5倍デー
(ナルス)

ぐーちよきシニア
パスポート 5%引きの日
(フレッセイ桐生・沼田地区店舗)

思いやり駐車場への共感看板設置

フレッセイでは、思いやり駐車場に「実際の車いすユーザーの方などの写真にメッセージを入れた看板を設置することで、健常者による駐車場の抑止に効果が得られる」という共感看板設置の取り組みを開始しました。

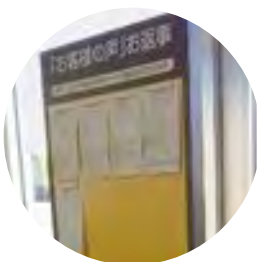
2017年5月、クラシース連取店の導入は群馬県では初めての取り組みとなり、一定の効果が検証されたことから14店舗に導入しました。また、原信の一部店舗でも設置をしました。



共感看板

お客様の声

アクシアル リテイリングでは、お客様の声を商品やサービスの改善などに役立てよう努めています。店頭ご意見カード、お客様相談ダイヤル、電子メールなどでご要望やご指摘を承り、迅速に対応しています。



お客様の声お返事ボード

地域行事への協賛

アクシアル リテイリングでは、地域社会の一員として、出店地域を中心に各地のお祭りに協賛しています。

日本三大花火大会の一つである長岡まつり大花火大会では、慰霊、復興、平和の象徴として、正三尺玉三連発を打ち上げました。



正三尺玉三連発(合成写真)

地域の皆様とともに

■ 原信サマースカラシップ

地域の皆様への感謝と、より多くの若者に異文化に触れ、視野の広い人間に育って欲しいという願いから、原信サマースカラシップが始まりました。2017年度で26回目を迎え参加者は520名(引率含む)を超えました。

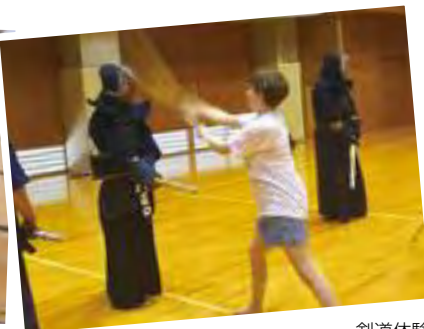
このプログラムは、長岡市と姉妹都市であるアメリカ・テキサス州フォートワース市の高校生と、長岡市の高校生が夏休み中に互いにホームステイをし、互いの文化を体験する活動です。



浴衣姿で長岡祭りに参加



茶道体験



剣道体験

■ インターンシップ

原信とナルスでは、仕事の体験を通じて当社の社会的役割を伝え、チェーンストアづくりの魅力を知っていただくことを目的に、大学生インターンシップの受け入れを行っています。

夏季は10日間、冬季は5日間のプログラムに加え、3ヵ月の長期インターンシップや1日参加のプログラムなども実施し、2017年度は計78名の学生が参加しました。店舗作業のほか、商品開発の知識を学んだり、物流センター見学やプライベートブランド商品を使った調理提案などを行いました。



商品開発の知識を学習



インターンシップの成果報告

■ 高校生の職場体験

市町村や各学校と連携し、各店で職場体験の受け入れを行っています。体験する学年や日数はさまざまですが、慣れない環境の中、それぞれ真剣に商品整理や商品補充などの作業に取り組んでいます。普段はお客様として利用するお店で作業を体験し、「働く大変さを実感した」という感想が多く寄せられました。



商品陳列作業の体験

■ 公益財団法人 日本互尊社

日本互尊社は、1934年に野本互尊が唱えた互尊独尊の思想を後世に伝えようと設立されました。長岡市最古の鉄筋コンクリート造りである如是蔵博物館には山本五十六をはじめ、長岡の歴史的人物にかかわる品々を展示しています。原信では、建物・庭園等の保存、整備、運営を支援しています。



如是蔵博物館

■ 公益財団法人 長岡社奨学会

長岡社奨学会は、長岡の先覚者たちが設立した育英事業団体「長岡社」の人材育成の精神を引き継ぎ1997年に運営を開始、原信では運営の支援をしています。

新潟県出身者で新潟県内の高等学校を卒業し、大学に進学した方のうち、学力が優秀な学生に学資の貸与または給付を行っています。

■ 災害時における帰宅困難者支援

フレッセイでは、群馬県と地域活性化包括連携協定の災害対策に関する共同の取り組みをしています。災害時の帰宅困難者へ水道水、トイレ、交通情報の提供を行う「帰宅支援ステーション」に、2018年3月、群馬県内の全店舗を登録しました。

また、原信とナルスでは出店地域の新潟県7市、富山県1市と災害協定を締結しています。

■ 義援金の寄託

アクシアル リテイリングでは、メキシコ大地震で被災された皆様の生活の早期復興に役立てていただくため、お客様よりご協力いただいた募金に、当社からの寄付を加えた総額150万円を義援金としてメキシコ合衆国政府の指定基金へ寄託しました。

また、九州豪雨災害で被災された皆様の早期復興に役立てていただくため、当社からの寄付を含め総額250万円を、株式会社シジシージャパン様を通じて、被災地にお届けいたしました。



目録贈呈

社員とともに

■ パートナー社員とともに

■ アシスタントチーフ制度

アクシアル リテイリングでは、定められた資格等級と技術レベルに到達したパートナー社員には、店舗での必要性和本人の意欲に応じて、アシスタントチーフ(部門責任者)としての活躍の場が用意されています。

Pick up



原信土橋店 FES部門
アシスタントチーフ
前田 奈美子

- ▶ 2010年3月 土橋店入社
- ▶ 2017年7月 アシスタントチーフ着任



Pick up



ナルスせきやま店 FES部門
アシスタントチーフ
宮下 泉紀

- ▶ 2014年 6月 せきやま店入社
- ▶ 2017年11月 アシスタントチーフ着任



Pick up



フレッセイ倉賀野西店 水産部門
アシスタントチーフ
堀地 真由美

- ▶ 2000年10月 倉賀野西店入社
- ▶ 2013年12月 アシスタントチーフ着任



■ パートナー社員からレギュラー社員への転換

原信では、パートナー社員からレギュラー社員への転換制度があります。2000年より制度が運用され、これまで53名の方が転換しました。

Pick up

原信巻店 FES部門
チーフ 今井 芳江

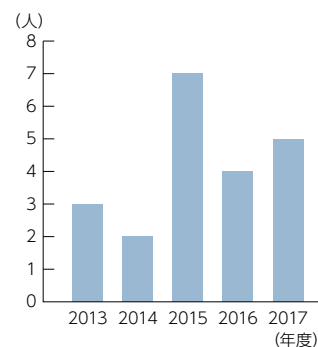


▶ 2017年 4月
パートナー社員から
レギュラー社員へ転換



新規採用が難しい中、レジ業務生産性向上のため、セルフレジのアテンドなど新たな業務の教育にもチーフとして取り組んでいます。

転換試験での入社実績



VOICE パートナー社員からレギュラー社員へ

三男の保育園入園をきっかけにレギュラー社員に転換しました。

研修で学んだことや、アシスタントチーフ時代の経験を活かしながら、現在の職場でチーフとして業務に励んでいます。

お客様の立場になって考え、部門メンバーとしっかり信頼関係を築き、部門運営をしていきます。



原信 見附店
ベーカリー部門チーフ
伊豆 えりか

■ 外国籍社員の活躍

アクシアル リテイリングでは従業員の採用にあたり、国籍や出身地、学閥、性別に関係なく、その人の持っている能力や人柄で採否を決めており、現在グループ全体で7名の外国籍社員がレギュラー社員として働いています。

原信とナルスでは4名が働いており、そのうち1名は部門チーフの経験を経たのち店長として活躍をしています。また、フレッセイでは3名が働いています。

人数はまだ少ないですが、今後商品開発などの分野においても、その言語力を活かしたキャリア形成ができるよう雇用環境を整備してまいります。



店長として活躍

関連会社の取り組み

外国人実習生制度の活用 株式会社 ローリー [食品の製造・加工]

2016年10月にベトナムから実習生7名を迎えました。

一番の課題は、製造作業で使用する日本語の習得でしたが、作業で使用する言葉の一覧表を作成したり、マニュアルをベトナム語に訳すなどして教育を進めました。その結果、他の従業員ともコミュニケーションが取れるようになりました。この実績を踏まえ、2018年度はさらに16名の実習生を迎える予定です。



実習生の決意表明

社員とともに

■女性の活躍

アクシアル リテイリングの従業員は、女性が8割を占めており、多くの女性が活躍している職場です。体力的な面で「男性しかできない」「女性だからできない」ということをなくすため、“女性の仕事のしやすさ”を考慮して作業環境や機器を整えています。それにより、店舗や物流センターでの作業は独力で仕事ができ、今ではすべての部門において女性のチーフが在籍しています。

店長、チーフバイヤーなどで女性管理職も誕生しています。スーパーマーケットは多くの女性がお客様として来店されますが、女性ならではの視点が売場づくりや商品に活かされています。2018年3月時点では13名が管理職として活躍しています。

VOICE 女性店長として

私が店長として心がけていることは、従業員が男女の性差なく働きやすい職場であるということです。社会環境は昔とは大きく変化し、例えば、男性であっても育児休暇を取得することは珍しくはなくなってきました。

育児休暇や有給休暇については、取得しやすい環境をつくることも店長として重要だと考えています。心身ともに健康であるからこそ、仕事も充実するのだということを一人ひとりの従業員に再認識してもらい、これからもワーク・ライフ・バランスを保つサポートをしてまいります。



原信燕店
店長
宮坂 彩子

■にいがた子育て応援企業認定

新潟県は、仕事と子育ての両立支援に積極的な企業の取り組みを支援することにより、社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図ることを目的に、「にいがた子育て応援企業」認定制度を創設しました。

原信とナルスは、2017年6月に第1回認定企業として認定されました。これからも男女共に仕事と家庭生活を両立するための支援を継続してまいります。



■くるみん認定

くるみん認定は、次世代育成支援対策推進法にもとづき、厚生労働大臣が企業に対して行う認定で、子育てサポート企業として2848社（2017年12月末時点）が認定を受けています。

ナルス（2013年6月認定）に続き、原信も2017年7月にくるみん認定を受けました。今後も、仕事と子育てを両立させることができ、従業員が働きやすく、その能力を十分に発揮できる職場環境を整備するため、取り組んでまいります。



■ 育児介護休業制度

原信とナルスでは、これから出産を迎える従業員向けに「出産・育児休業制度説明会」を開催しています。女性だけでなく、夫婦で参加する従業員も増えています。

説明会では、制度説明に加え育児休業を取得した従業員の体験談発表も行っています。参加者からは、「不安に思っていたことが解消された」「どんな制度があるのか理解できた」との声がありました。また、男性の育児休業取得の事例紹介も行い周知を図ったところ、原信では、昨年度に続き、2017年度も2名の男性が育児休業を取得しました。また、ナルスとフレッセイでも、それぞれ1名の男性が育児休業を取得しました。



出産・育児休業制度説明会

VOICE 育児休暇を取得して

育児休暇を取得しようと思った理由は、第2子出産に伴って、第1子の育児ができる者がいなかったためです。

当社では、男性の育児休暇取得に前向きで前例もあったことから店長に相談したところ、すぐに育児休暇取得の準備をしてくださいました。

私が育児休暇を取得したことで、妻も安心して出産でき、私も改めて子供と多くの時間を過ごせ、子供の成長を実感することができました。



原信 燕店 青果部門チーフ
五十嵐 拓真

■ 有給休暇の取得

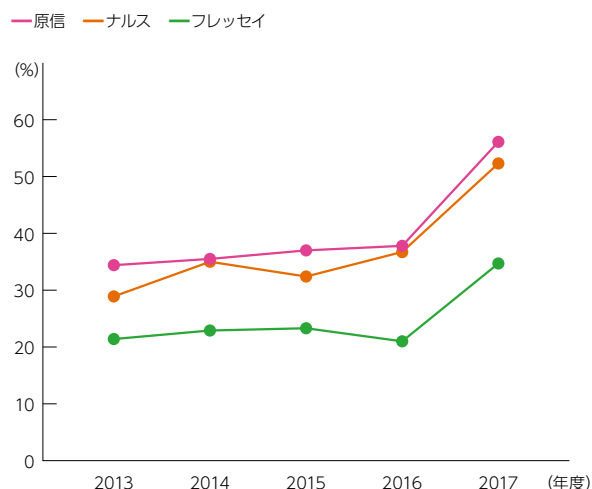
働きやすい職場環境実現の一環で、有給休暇取得率向上に取り組みました。

定例会議の実施頻度、時間、出席者を見直し新たに設定しました。さらに、研修・会議の年間計画をふまえて年度初めに各自が有給休暇取得計画を作成、部署長による取得状況確認を継続しました。

また、パートナー社員、アシスタントチーフの活用、エリアマネジャー主導の人員不足店舗への応援態勢構築も取得率向上に寄与しました。

このような取り組みの結果、原信とナルスではレギュラー社員の有給休暇取得率が50%超と大幅に改善されました。今後もさらに各社で取得率が向上するよう取り組みを進めます。

有給休暇取得率推移(レギュラー社員)



社員とともに

■ シニア人材の活躍

原信とナルスでは、定年後再雇用の限度年齢を70歳に引き上げ、体力面に考慮しながら健康で働き続けられる環境を整えています。更に、アルバイトの再雇用限度年齢を、70歳から75歳に引き上げました。働く意欲のある方が活躍できる場となっています。



いきいきと活躍

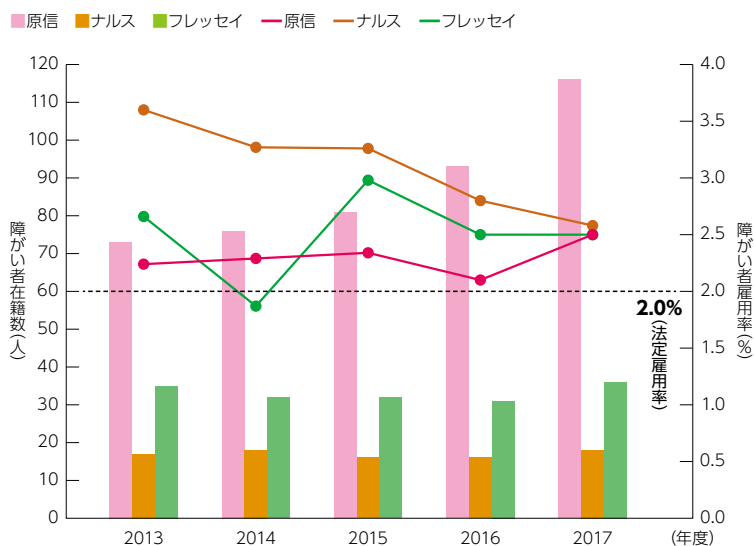
■ 障がい者の活躍

アクシアル リテイリングでは、障がいをお持ちの方も職業を通じて誇りを持ち、自立した生活を送ることができるよう、障がい者雇用に努めています。すべての事業所が物心両面での雇用環境整備を継続的・計画的に進めたことにより、雇用率は全事業会社において2.0%以上となっています。

フレッセイでは、2013年11月にフレッセイヒューマンズネットを設立し、2014年3月には特例子会社としての認可を受けました。

これからも障がいの有無に関わらず、すべての従業員が安心して働ける環境を整えてまいります。

障がい者在籍者数と雇用率の推移



※フレッセイの数値はフレッセイヒューマンズネットを含む。

■ コンプライアンス通報・相談窓口、ヘルプライン通報・相談窓口

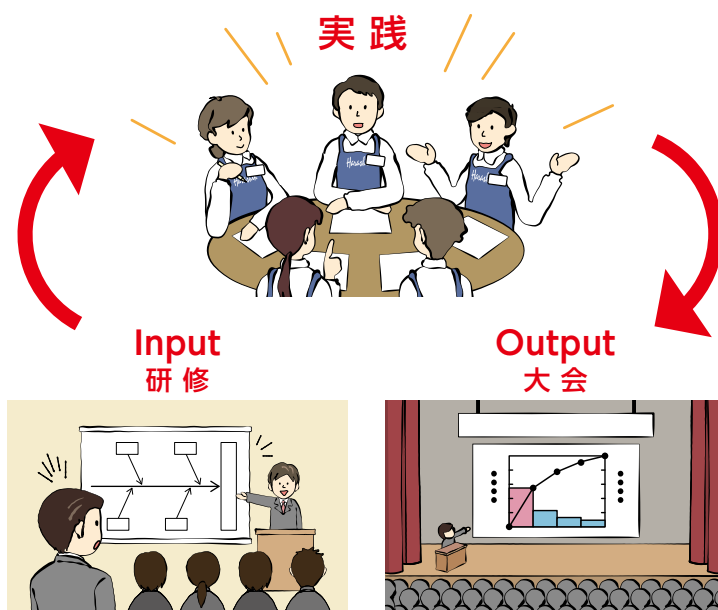
アクシアル リテイリングでは通報・相談窓口を設け、不正違法行為、すべてのハラスメント行為などの連絡、相談を受け付けています。

■TQM(総合的品質管理)

アクシアル リテイリングは、TQM(Total Quality Managementの略)を経営の根幹に推し進めています。TQMは、経営理念実現のために、全社員がよりよい仕事を継続的に行っていく仕組みです。

それぞれが立場に応じて、専門担当が個人で行う「SUM※」、「QCサークル」と呼ばれる小集団のチームで改善活動を行っています。

研修で手法を学び、大会での発表や見学を通じてレベルアップを図りながら、お客様ご満足実現のために取り組みをつづけています。



※Service(サービス) Up(アップ)のためのManagement(マネジメント)活動の略：アクシアル リテイリング独自の用語

TOPICS 第100回TQM発表大会開催

1983年に第1回大会が行われてから34年、2017年11月の伊勢崎大会で100回を迎えました。

2015年からは年8回の開催となり、自分自身のサークル活動のさらなるレベルアップにつながっています。テーマ完結も、2017年度は5,280件となりました。



代表サークルの発表

■成功事例と改善事例

アクシアル リテイリングでは、店舗の従業員が売場づくりを工夫して取り組み、成果が上がった事例を「成功事例」と呼び、独自のシステムを使い、全店舗で共有する仕組みを整備しています。

共有することで、良い事例を1店舗だけのノウハウで終わらせてしまうのではなく、全店舗への水平展開につなげています。そしてご来店いただくより多くのお客様に喜んでいただけることを目指しています。

同じ考え方のもと、作業をより安全に、より効率よく行う工夫についても「改善事例」と呼んで共有しています。よい工夫に対しては評価、表彰することで、従業員のモチベーションアップにもつながっています。



事業活動の環境負荷

インプット

燃料
(石油類)



重油 38kℓ
灯油 175kℓ
軽油 3,114kℓ
(配送車輛、自家発電)

電 気



188,485MWh
電力会社から購入し、
使用した電力の総量

紙



23t

本部で使用したコピー
用紙、コンピュータ用紙
の総量

水



818千m³

ガ ス



539千m³

- 節水バルブ内蔵の便器
- 節水自動水栓の手洗い器
- オストメイト対応のトイレ (詳細はP10)
- 紙タオルからジェットタオルへ変更してゴミの削減
- 授乳室の設置 (詳細はP10)

- 揚げ物の油は酸化度をチェックして交換
- 廃油は100%リサイクル

- 自然冷媒を使用したショーケースの導入 (詳細はP32)

- ショーケース照明のLED化
- 高さの低いショーケース

- 専用端末を使い、無駄のない発注指導を行い紙の削減

- フロン類は100%回収し破壊処理

- バラ売りの惣菜を入れる容器は軽量の袋を設置

- 車イスの設置 (詳細はP10)

- レジ袋のリユース (詳細はP29)

- 省エネ型自動販売機の設置

- AEDの設置 (詳細はP10)

- カラーコピー機の使用済みトナーカートリッジは回収して再利用





アウトプット

排水



818千³

CO₂



110,158t

電気、ガス、燃料の使用に伴って発生した二酸化炭素の総量

産業廃棄物



2,326t

再資源化率
75.8%

事業活動によって生じた廃棄物のうち「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定められた廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
廃油	373	373
廃発泡スチロール	433	433
グリーストラップ汚泥	882	351
その他産業廃棄物	638	606
合 計	2,326	1,763

一般廃棄物



22,972t

再資源化率
73.5%

紙くず、段ボール、厨芥物など、事業活動によって生じた廃棄物のうち、産業廃棄物を除く廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
生ゴミ	5,514	3,549
紙くず	4,006	79
不燃物	192	0
ビン	20	20
段ボール	12,749	12,749
アルミ・スチール缶 ペットボトル	491	491
合 計	22,972	16,888

リサイクル回収量(t)



レジ袋	15
発泡トレー	222
透明容器	360
紙パック	335
ペットボトル	251
ペットボトルキャップ	74

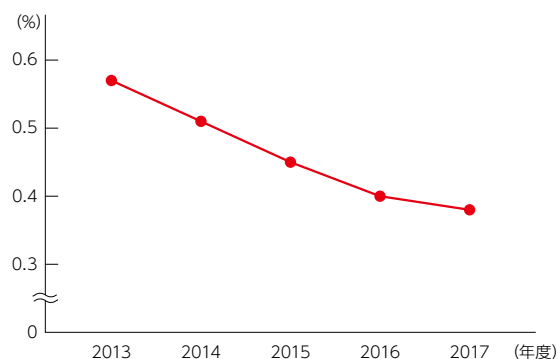
廃棄物の削減

食品廃棄物の発生抑制

アクシアル リテイリングでは、店舗から発生する食品廃棄物の発生抑制に努めています。

原信とナルスでは、環境マネジメントシステムの中で廃棄率(売上金額に対する廃棄商品金額の率)の削減を環境目標に掲げ取り組んでいます。その結果、2017年度は廃棄率を0.38%にすることができました。

廃棄率の推移



TOPICS ISO14001:2015年版を認証

原信は2000年に、ナルスでは2008年に環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を取得しました。2017年6月には最新版である2015年版の移行審査を受け、認証を継続取得しました。



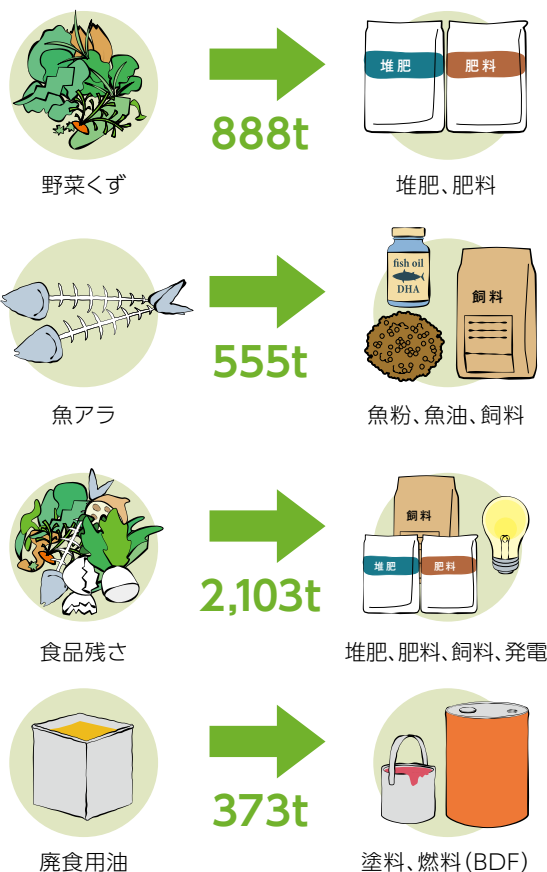
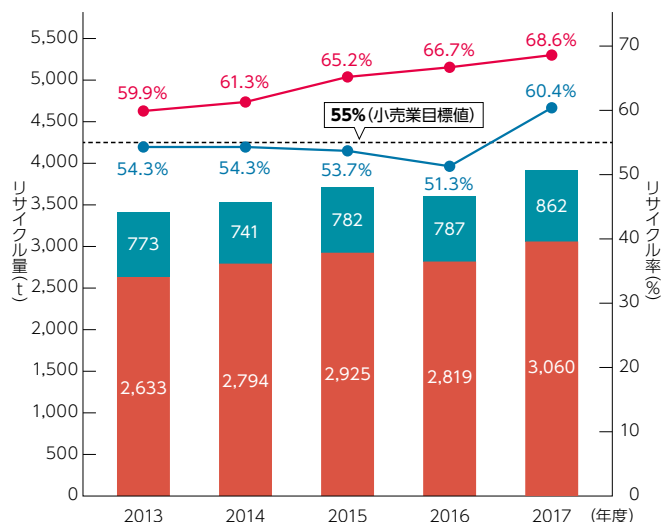
登録証

食品廃棄物のリサイクル

発生した食品廃棄物は可能な限りリサイクルをしています。アクシアル リテイリング各社が業界目標の食品リサイクル率を達成できるよう、取り組みを推進していきます。

食品廃棄物(廃食用油含む)のリサイクル量および率

■原信とナルス ■フレッセイ ■原信とナルス ■フレッセイ





VOICE 食品廃棄物削減の取り組み

食品廃棄物発生抑制の青果部門目標値に対し、実績が大幅に超えていたため、QCサークル活動のテーマとして取り組みました。その結果、4ヶ月間で昨年比に比べ、約36%の削減となり、改善することができました。

QCサークル活動を通して廃棄削減に対する部門全員の意識が向上しました。現在も歯止めがかかっており数値は削減傾向です。



原信 美沢店
青果部門チーフ
青柳 貞行

容器包装材の削減

アクシアル リテイリングでは、プライベートブランド商品のリニューアルにあわせて容器包装材のサイズや形態を見直しています。一例として上級あらびきポークウィンナーの袋包装を、2個袋から1個袋に変更しました。



資材削減量 **5t**

関連会社の取り組み

廃液ゼロの印刷

高速印刷株式会社

〔チラシ印刷他、テレビCMの企画制作〕

2017年から全印刷機に対し無処理版（現像処理・ガム処理を印刷工程の前に行わなくてもよい刷版）で稼働を開始しました。その結果、ランニングコストの削減、さらには処理薬品不要に伴う廃液排出がゼロとなり、環境負荷が低減しました。



無処理版

レジ袋の3R



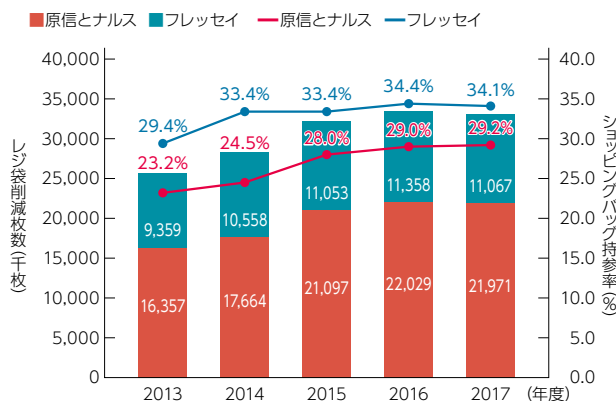
原信とナルスでは、レジでの袋詰めサービスにより過剰なレジ袋のお渡しを抑制しています。レジ担当者がお買い上げ量に応じた袋に商品をお詰めすることで、無駄にレジ袋を使用しないようにしています。



アクシアル リテイリングでは、レジ袋の再使用を推進しています。

取り組みの一つとして、原信とナルスでは一度お使いいただいたレジ袋を次回のお買い物の際にマイバッグ代わりにする『リユース! レジ袋』へのご協力をお願いをしています。

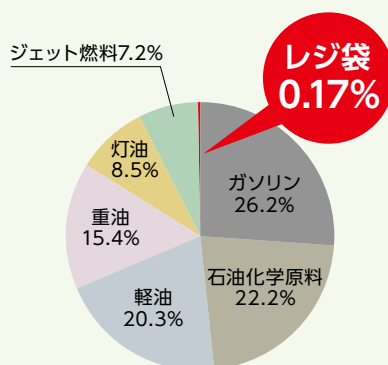
レジ袋削減枚数とレジ袋辞退率推移



2回使えば50%のレジ袋削減になります。

ご存知ですか？

- 1 石油製品のうち、レジ袋に使用されている石油は、全体のわずか**0.17%**です。



日本における石油製品需要量
20,771万klの内訳(2017年度)

※レジ袋は6.5g(当社レジ袋重量)、年間300億枚消費されていると仮定して試算。
【出典】経済産業省「資源・エネルギー統計」

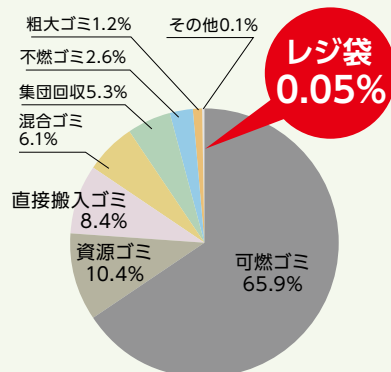
- 2 アイドリングを1分間止めることは、1枚分のレジ袋削減と同じ効果が見込めます。



1分間のアイドリングストップで12mlの石油資源が削減できます。

※アイドリングストップによる削減効果は2000ccガソリン車での試算(出典:省エネルギーセンター)。レジ袋による削減効果はレジ袋重量を6.5g(当社レジ袋重量)として試算
【出典】日本ポリオレフィンフィルム工業組合

- 3 再利用されずに捨てられるレジ袋は、家庭ゴミのうち**0.05%**です。



家庭ゴミ4,317万tの内訳
(2016年度)

※レジ袋は6.5g(当社レジ袋重量)、年間36億枚廃棄されているとして試算(当社の再利用率調査に基づき、年間消費300億枚のうち88%が再利用されていると仮定)。
【出典】環境省「日本の廃棄物処理」



不要となったレジ袋は、原信とナルスの店頭にて回収し、リサイクルをしています。

リサイクル量は2016年度よりも15%増加しました。

レジ袋回収量

15t

CO₂削減量

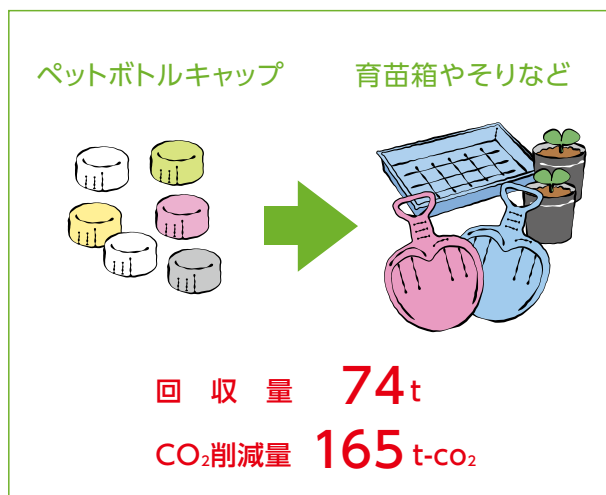
38t-CO₂

※CO₂量は環境省「3R行動見える化ツール」より算出。



資源店頭回収とリサイクル

アクシアル リテイリングでは、店頭に資源回収ボックスを設置し、貴重な資源の回収とリサイクルをしています。今後も地域社会の一員として、お客様とともにリサイクル活動を進めてまいります。



TOPICS

発泡トレーのリサイクル

店頭で回収した発泡トレーは原興産でリサイクル原料に加工しています。また商品の納品に使われた発泡スチロールも同じくリサイクルしており、こちらは力丸流通サービスでも行っています。

リサイクルの様子

※CO₂量は環境省「3R行動見える化ツール」より算出。

原信とナルスの資源店頭回収とリサイクルについてはWEBをご覧ください。
<http://www.hnhd.co.jp/csr/eco-recycle-2/>



フレッセイの資源店頭回収とリサイクルについてはWEBをご覧ください。
<http://www.fressay.co.jp/csr/recycle.html>



低炭素社会への対応

■環境に配慮した店舗づくり

■CASBEE(キャスビー)の活用

CASBEE(建築環境総合性能評価システム)は、建物の品質を総合的に評価するシステムです。省エネルギーや環境への負荷が少ない資機材の使用などの環境配慮だけでなく、室内の快適性、景観への配慮なども総合的に評価されます。

原信とナルスでは、評価結果がAランク(大変良い)になるよう、店舗の設計をしています。



店舗敷地の緑地化

■自然冷媒を使用したショーケースの導入

原信では、自然冷媒R290を使用した冷凍ショーケースを一部店舗で導入いたしました。R290冷媒は、仮に大気中に放出されてもオゾン層破壊や地球温暖化にほとんど影響しないという特徴があります。

さらに電力使用量も従来のショーケースよりも約50%削減されます。

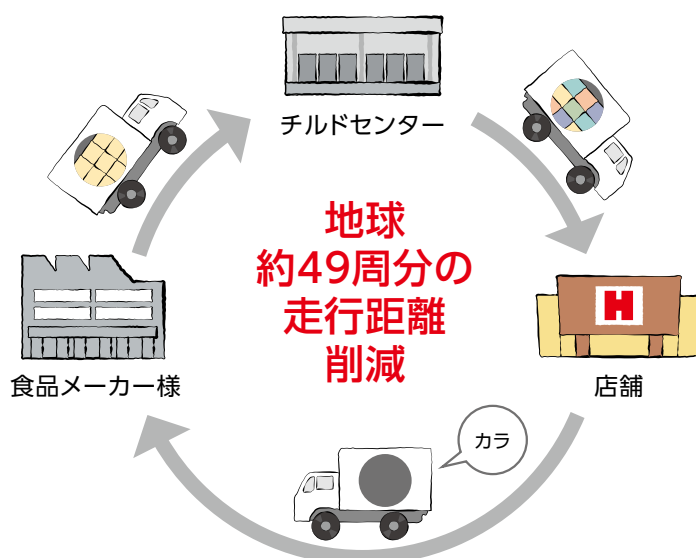


R290使用の冷凍ショーケース

■物流の効率化による環境負荷低減

店舗に商品を配送した帰り便が、その店舗近隣のお取引先様の工場に向かい、商品を積み込み、当社チルドセンターに配送しています。

これにより、工場から商品を積み込むためだけの配送便を走らせる必要がなくなり、配送車両燃料の削減につながっています。



関連会社の取り組み

クラウド化による電力の削減

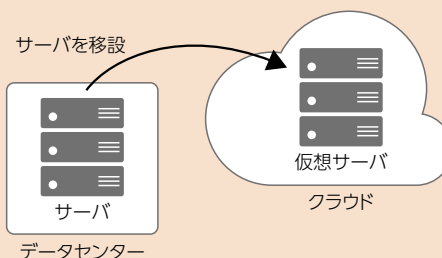
株式会社 アイテック

[情報処理及びソフトウェアの開発業務]

アイテックでは、以前より取り組んでいた原信とナルスが利用していたサーバの「クラウド化」が完了します。

社内のデータセンターが無くなることで、今まで使用していた電力とCO₂を削減することができます(年間12万kWh、67t-CO₂削減)。

今後も最新技術を積極的に取り入れ、安定したサービスを提供すると共に環境負荷軽減に取り組んでまいります。



環境会計

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考にして作成しました。

■環境保全コスト

(単位:千円)

分 類		主な取り組みの内容	2016年度		2017年度	
			投資額	費用額	投資額	費用額
(1)事業エリア内コスト		—	172,765	497,023	117,745	390,678
内 訳	(1)ー1公害防止コスト	ばい煙・地下タンク・浄化槽検査費 グリーストラップ等設備導入費 グリーストラップ清掃費、浄化槽維持費など	172,765	76,187	117,745	83,946
	(1)ー2地球環境保全コスト	LED照明工事など	—	92,534	—	45,468
	(1)ー3資源循環コスト	廃棄物処理費、生ゴミリサイクル費など	—	328,302	—	261,264
(2)上・下流コスト		容器包装リサイクル法再商品化委託料、レジ袋不使用2円引き費用	—	89,077	—	83,602
(3)管理活動コスト		ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、展示会、新店の緑地など	8,520	36,986	7,646	46,062
(4)研究開発コスト		—	—	—	—	—
(5)社会活動コスト		各種組合費など	—	150	—	170
(6)環境損傷対応コスト		PCB処理委託費用	—	3,754	—	—
合 計		—	181,285	626,990	125,391	520,512

※対象企業：原信、ナルス

※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

■環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2016年度	2017年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量(MWh)	184,800	188,485
	ガス使用量(千m ³)	633	539
	重油使用量(kℓ)	65	38
	灯油使用量(kℓ)	254	175
	軽油使用量(kℓ)	3,030	3,114
	水使用量(千m ³)	824	818
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	109,148	110,158
	廃棄物総排出量(t)	24,974	25,298
	廃棄物最終処分量(t)	6,500	6,647
	排水量(千m ³)	824	818
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量(t)	13	15
	紙パック回収量(t)	336	335
	発泡トレイ回収量(t)	210	222
	透明容器回収量(t)	326	360
	ペットボトルキャップ回収量(t)	75	74
	ペットボトル回収量(t)	249	251

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

■環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		2016年度	2017年度
収 益	リサイクル品売却益	23,819	35,405
	店頭回収品売却益	4,097	4,749
費 用 節 減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	14,876	12,948
	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	48,464	40,866
合 計	—	91,256	93,968

※対象企業：原信、ナルス

〈アクシアル リテイリングのあゆみ〉

年	原信	ナルス	フレッセイ
	創業：1907年(明治40) 原信吾が原蠟燭(ろうそく)店を長岡市で開業。西洋ろうそくを扱う。家の明かりを灯するろうそくを一品一品ていねいに、大切につくりあげる。戦後はせとものを取り扱い、バラエティストアへと転身。いつの時代もお客様の生活に必要なものに対応し、変化し続けてきた。	創業：1948年(昭和23) 成澤芳雄がこんにやく・豆腐製造の成沢商店を直江津市で開業。「なぜば成る」の心をもとに、「主婦の店」、その後「主婦の店ナルス」としてスーパーマーケットを運営。	創業：1850年(嘉永3) 植木文左衛門が海のない地域の方々においしい魚を提供したいという想いから、鮮魚塩干物の卸小売業「松葉屋」として創業。
1950			(株)松清本店設立
1958			スーパーマーケット創業
1959			
1967	(株)原信 設立 (スーパーマーケット創業)	主婦の店直江津店開店 (スーパーマーケット創業)	
1974			CGCグループ加盟
1979	CGCグループ加盟	商号を(株)ナルスに変更	
1983	TQC導入		
1988	新潟証券取引所に上場		
1990	SSM1号店の原信吉田店(1991年)	新・ロゴマークの採用	
1991	原信・福屋・こたやの3社合併、新生原信誕生 TQCを軸としたHTS活動開始 「原信サマースカラシップ」スタート		
1992		ナルス ロゴマーク (1990年～)	商号を(株)フレッセイに変更
1996	中之島物流センター開設		
1997	新・ロゴマークの採用 長期ビジョン「2010 VISION」策定		フレッセイ ロゴマーク (1992年～)
1999	レジでの袋詰めサービス開始	原信 ロゴマーク (1997年～)	フィック FIC活動(フレッセイ改善活動)キックオフ
2000	東京証券取引所2部に株式上場 環境マネジメントシステムISO14001認証取得		
2001	ニューコンセプト導入 (簡単便利+もっと豊かにをコンセプトとした店舗づくり)		フレッセイポイントカード全店導入
2003	はらしんカード(クレジットカード)取り扱いスタート	ナルスカード導入	フレッセイカスタマーカード導入
2004	7・13水害(2店舗浸水) 中越地震発生(44店舗中22店舗被災、3店舗閉鎖)		アップグレード型業態 出店
2005			障害者雇用優良企業 厚生労働大臣賞受賞
2006	HTSをTQMIに名称変更 株式会社ナルスと経営統合 原信ナルスホールディングス株式会社を設立		
2007	東京証券取引所1部に指定替え 第1回原信ナルス会開催 中越沖地震発生(7店舗被災)	原信ナルスホールディングス ロゴマーク (2006年～2013年)	原信ナルスホールディングス 東証一部上場(2007年) (左)原信一社長 (右)山崎軍太郎会長
2008	ナルス ISO14001認証取得(適用範囲の拡大) 上越物流センター開設		ISO9001認証取得(2017年認証返上) キャリア教育文部科学大臣賞受賞
2009	長期ビジョン「Advanced Regional Chain」策定		
2010	ニューコンセプトⅡ(NCⅡ)スタート (毎日の食生活を豊かに楽しくする提案のできるスーパーマーケットづくり)		
2011	東日本大震災発生(PB商品1個につき1円を被災地に寄付する「まごころの1円プログラム」) 原信ネットスーパースタート	ニューコンセプトⅡの考えを取り入れ、アースカラーを基調とし、落ちついたイメージの店舗外観(原信美沢店)	株式会社フレッセイホールディングス設立
2012	川崎店グロスアリー部門「抹茶ラテサークル」が QCサークル石川馨賞を初受賞		ミツ MITHS活動(改善活動)スタート 移動販売車「フレッシュー便」介護施設や団地 巡回開始
2013	株式会社フレッセイホールディングスと経営統合し、 アクシアル リテイリング株式会社を設立 3R推進功労者等表彰会長賞受賞 原信ナルス中之島DC開設		
2014		(左)山崎軍太郎会長 (中)原和彦社長 (右)植木威行副社長	前橋物流センター開設
2015	紺綬褒章受章(関東甲信地区大雪災害における群馬県への義援金寄付により)		群馬県食育推進活動優良企業表彰受賞
2016	株式会社格付投資情報センターより格付け及び方向性 A-(安定的)に格上げ		フレッセイ スーパーマーケット創業60周年
2017	原信 スーパーマーケット創業50周年	アクシアル リテイリング ロゴマーク(2013年～)	
2018			



植物油インキマークは植物油
を使用した印刷インキに表示
できるマークです。

アクシアル リテイリング株式会社

新潟県長岡市中興野18番地2 〒954-0193
Tel.(0258)66-6711 Fax.(0258)66-6727
<https://www.axial-r.com/>

【対象期間】2017年度(2017年4月~2018年3月)※ 【対象範囲】アクシアル リテイリンググループ企業 【発行日】2018年6月
【参考ガイドライン】GRI「サステナビリティ レポートガイドライン(第4版)」、環境省「環境報告書ガイドライン(2012版)」
【お問い合わせ先】原信ナルスオペレーションサービス株式会社 TQMCSR部 環境CSR室
【TEL】0258-66-8650 【FAX】0258-66-8663 【URL】<https://www.axial-r.com/contact/>

※一部に対象年度以外のものを含む場合があります。